

日本マインドフルネス学会第6回大会

研修 IB：応用講習「MBI-TAC を使って MBCT の指導力を向上させる」

<基本情報>

日時：2019年8月24日（土） 12:00～15:00

会場：関西大学（千里山キャンパス）、100周年記念会館（会議室1）

定員：24名

<参加費、申込方法、アクセスなど>

第6回大会公式サイト参照 → <http://www2.kansai-u.ac.jp/psy/JAM6.html>

講師

- ✓ 家接 哲次 先生（名古屋経済大学 人間生活科学研究科 教授）

要約

- ✓ 日本でのマインドフルネス認知療法（Mindfulness Based Cognitive Therapy: MBCT）のインストラクター養成研修は、2016年のマーク・ウィリアムズの研修から始まった。その後、毎年のようにオックスフォードマインドフルネスセンターの講師が研修会（モジュール）を行っており、我が国でも MBCT を指導できるインストラクターが育ちつつある。
- ✓ 本研修会では、インストラクターの指導力を評価する基準(Mindfulness-based Interventions Teaching Assessment Criteria: MBI-TAC)を解説し、その後ビデオ（指導事例）を見ながら評価基準についてディスカッションをする予定である。受講者は、MBI-TAC で重視されているポイントを理解することで、指導力の向上が期待される。



自己紹介

- ✓ 名古屋経済大学人間生活科学研究科教授、名古屋経済大学マインドフルネスセンター所長、Oxford Mindfulness Centre 認定 MBCT インストラクター、The Mindfulness Network 登録スーパーバイザー(<https://www.mindfulness-supervision.org.uk/choosing-a-supervisor/>)
- ✓ 主な論文・訳書：「Gradually Getting Better: Trajectories of Change in Rumination and Anxious Worry in Mindfulness-Based Cognitive Therapy for Prevention of Relapse to Recurrent Depression」(『Mindfulness』)、『30のキーポイントで学ぶマインドフルネス認知療法入門』(創元社)

受講資格・当日の持ち物

- ✓ 守秘義務を有した専門家（および大学院生）で、モジュール1（2016年のマーク・ウィリアムズによる MBCT 3days ワークショップも含む）を修了された方
- ✓ ①筆記用具／②日本語版 MBI-TAC summary（名古屋経済大学マインドフルネスセンターのウェブサイト近日アップロード予定（同サイト内の「リソース」のページ <http://www.nagoya-ku.ac.jp/mindfulness/resources/>）。8月17日までにアップロードされない場合は、研修会会場にて準ずるものを配布予定）